

刈野辺総合病院

地域連携NEWS

メディカルサポートセンター
地域医療連携課

ももせ皮膚科 百瀬 葉子 先生にインタビュー

当院に入院されている患者さんで、標榜していない診療科の医師による診察が必要と判断された際に、近隣医療機関の専門医の先生に連絡し、当院にお起こしいただき診療をお願いしています。

今回は、対診や開放登録医としてもご協力いただいております、ももせ皮膚科（中央区矢部）の百瀬 葉子 先生にお話を伺いました。

Q 対診を始めていただいたきっかけを教えてください

A 地域連携室を介して対診の依頼が入りました。もともと入院管理が得意ということもあり依頼を受けました。

Q 対診を行って良かった点はありますか

A 対診のシステムを知れたことと、開放病床を利用しやすくなったことです。

Q 今後の連携強化に必要なことがありましたら教えてください

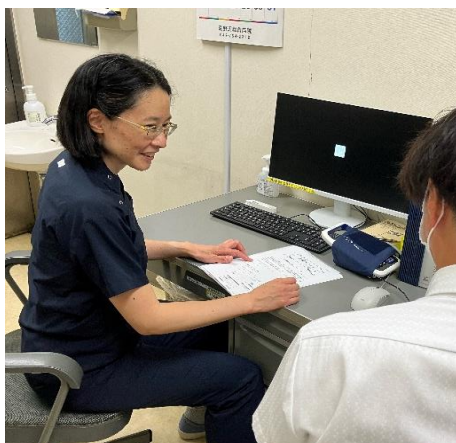
A 事務的な手続きが多いので、もう少し簡略化ができれば良いと思います。

例えば、主治医が紹介状を作成していただけますが、院内他科依頼のような簡単な文章でも良いと思いますし、私も対診後は紙の診療記録への記載と、電子カルテの入力がありますので、効率面での改善ができればと思います。

Q これまでの対診で印象に残っているエピソードはありますか

A 角化型疥癬の患者さんの対診をお受けした際に、院内感染が起きないかととても心配しました。病棟の皆様がとても協力的で懸命に対応下さったおかげで感染者ゼロでした。

百瀬先生ありがとうございました。



百瀬 葉子 先生



対診の様子